

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	年に数回、個別で「思い出のある場所や馴染みの人との繋がりを維持するため」思い出めぐりを実施しているが、入居者様のADLによって計画の実行が困難になってきている。	ADL低下や、その他の状態にかかわらず「本人が望む場所・思い出のある場所」に気軽に出かけられる支援を実現する。	・各担当者が情報収集を行い、計画を立案する。ご家族との連絡調整を担当者(受け持ち)が責任を持ち、実行可能な計画をスタッフと共に調整する。実行後の評価は速やかに行い、年1回にとどまらず次の計画へとステップアップを行う。	12ヶ月
2	49	ADL低下に伴い、車椅子使用の入居者様や長時間座位保持も難しい入居者様など、普段のなにげない外出も減少傾向にある。入居者様の体力や、状態に応じた柔軟な対応が実施できていない。	※本人が望む場所については、優先1同様車など使用しての買い物外出が困難な場合でも、日光浴などの散歩は日課として継続実施できるよう取り組む。	※本人が望む場所については優先1同様日課表の見直しを行う。各専門職員(看護師・ケアマネージャー)などとカンファレンスを行い、入居者様の状態に応じた計画を実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。